

福祉啓発映画会



入場無料！！

マリと子犬の物語

新百合ヶ丘駅北口から徒歩2分
新百合ヶ丘ビル1階
麻生区社会福祉協議会

これは、山古志村の実話から生まれた、あたたかな絆の物語

日時 平成22年3月26日(金)

開場 午後1時

開演 午後1時30分

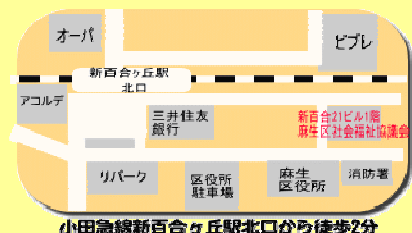
会場 新百合トウエンティワン多目的ホール
(小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩2分)

定員 300名(当日会場にて受付)

問合せ 麻生区社会福祉協議会

電話:952-5500

FAX:952-1424



小田急線新百合ヶ丘駅北口から徒歩2分

主催 社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会
協力 川崎市アートセンター NPO法人KAWASAKIアーツ

社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会

☆福祉啓発映画会へのご案内☆

映画

「マリと子犬の物語」



「災害」が起きたら、私たちの生活はどうなるのでしょうか？
麻生区社会福祉協議会では、いつ起こるかわからない「災害」について
地域の中で考える「きっかけづくり」として、福祉啓発映画会「マリと子犬の物語」
を開催いたします。

決して他人事ではない「災害」について、この機会に考えてみませんか。



2004年10月23日、午後5時56分。
新潟県中越地方を震源としてマグニチュード6.8の地震が起こりました。
‘新潟県中越地震’と名付けられたその地震により闘牛や錦鯉の産地
として名高い山古志村（現・長岡市）も非常に大きな被害を受けました。
しかし、その山古志村で失意の底にいた人々を勇気づけたある
エピソードがあったのです。

「マリと子犬の物語」は、実話から生まれた、いのちの物語です。

★ストーリー★

新潟県山古志村は、自然に恵まれた美しい村。そこで暮らす石川家は、村役場に勤める優一（船越栄一郎）、息子の亮太（広田亮平）と妹の彩（佐々木麻緒）、そして祖父・優造（宇津井健）の4人家族。亮太と彩は早くに母親を亡くしていたが、妹の芽子（松本明子）が時々やってきて、母親代わりに世話をしてくれていた。そんな石川家に、新しい‘マリ’という子犬が家族の仲間入りをする。それから数年後、マリは成長し、3匹の子犬を産む。新しい家族の誕生に石川家は大喜び。しかし幸せな時はつかの間だった。大地震が発生！山々は崩れ、地面は裂け、家々が崩れおちる。人々やマリたちにも危険がふりかかる！



（福）川崎市麻生区社会福祉協議会について

麻生区社会福祉協議会は、社会福祉法人格をもち、区域の福祉施設、民生委員児童委員協議会、他地区社会福祉協議会、町内会、ボランティアグループや当事者団体、行政機関などの会員で構成され、麻生区域の福祉活動・事業に取り組んでいます。

具体的には、地域が抱えるさまざまな福祉の課題をみんなで考え、話しあい、そして計画を立てて解決にあたります。

「だれもが生活しやすい地域をつくる」ことを目指して、地域住民や社会福祉関係者と協力しあい地域福祉を進めています。

【連絡先】

社会福祉法人
川崎市麻生区社会福祉協議会
〒215-0004
麻生区万福寺1-2-2新百合21ビル
1階福祉パルあさお内
TEL：952-5500 FAX：952-1424
URL：www.kawasaki-shakyo.jp/asao/
MAIL：info@asao-shakyo.com